

## 看護統合実習評価(成人看護学領域)

実習期間:平成 年 月 日～ 月 日

学籍番号:

学生氏名:

項目	評価内容	配点	教員	臨地 指導者	自己 評点
複数の患者に対するケアのマネジメントを理解し、責任もって看護を行う意味を理解できる	① 複数の患者を受けもち、患者情報を収集し、患者に必要な看護を計画立案し、担当ナースと調整できた	3			
	② 複数の受け持ち患者に対して看護実践の優先順位が立てられた	3			
	③ 病棟の看護計画を基に自分のタイムスケジュールが立てられた	3			
	④ 看護実践の前に、看護計画の内容、タイムスケジュール、看護実践の優先順位についてリーダー看護師に報告・相談ができた	3			
	⑤ メンバースhipに基づいて受持ち患者に必要な看護を実践できた	3			
	⑥ 看護の実践中や実践後に、患者状態や看護の実践結果、評価をリーダー看護師に報告できた	3			
看護チームの役割と機能が理解できる	① メンバー看護師、リーダー看護師、看護師長の役割と機能を知ることができた	3			
	② 看護が継続して24時間提供されていることが理解できた	3			
	③ 患者のケアが他職種と協働で行われていることを理解できた	3			
	④ チーム医療における看護職の役割が理解できた	3			
病院組織、看護部組織の概要を知る	① 病院組織の概要と理念を理解できた	3			
	② 看護部組織の概要と目標による管理について理解できた	3			
	③ 看護部の教育理念にあった看護師育成のためのしくみについて知った	3			
ケアに際してのヒューマンエラー防止の必要性と工夫が理解できる	① 起こしやすいヒューマンエラーを理解できた	3			
	② ヒューマンエラーを起こしやすい状況について理解し行動できた	3			
	③ ヒューマンエラーを防止するための具体的な方法について理解し行動できた	3			
	④ ヒューマンエラーを起こした場合の対処方法について理解できた	3			
	⑤ 医療事故防止のための組織的な取り組みやシステムについて知ることができた	3			
専門職として、看護倫理に基づいた行動ができる	① 患者の価値観を考慮し患者を尊重した言葉かけや対応ができた	3			
	② 患者のプライバシーに配慮できた	3			
	③ ケアの必要性について説明できた	3			
	④ 患者の看護に責任をもち、報告・連絡・相談ができた	3			
	⑤ 自分のできることできないことを判断し行動がとれた	3			
記録	① 専門用語を使用して記載できた	3			
	② 日々の記録は実践と評価を記載できた	3			
	③ 求められる記録は期限内に提出できた	3			
	④ 課題レポートは学習の視点に沿って自分の考えを述べる事ができた	3			
実習態度	① 積極的に主体的に実習できた	3			
	② 積極的に主体的にカンファレンスに望んだ	3			
	③ 自己の健康管理ができた	3			
発表	① 効果的でわかりやすい発表のための報告書が作成できた	10			
評点など	0:できなかった 1:あまりできなかった 2:できた 3:よくできた			/100	/90
	(欠席数: 日 早退: 回 遅刻: 回)				/100
指導教員評価	サイン( )				
臨地指導者評価	サイン( )				
学生評価					